

コンピュータチェック事例コード

48SJ990454302

コンピュータチェック内容

同日に歯科矯正セファログラムを算定した場合に写真診断（特殊撮影（歯科パノラマ断層撮影））が所定点数で算定された場合にチェックを実施。

コンピュータチェック根拠

写真診断（特殊撮影（歯科パノラマ断層撮影））は、歯科矯正に係る一連の画像診断として、歯科矯正セファログラムと診断目的が同一の場合100分の50で算定するとされています。

グラフの見方

- 棒グラフ(該当レセプトの審査結果)
コンピュータチェックの対象となる診療行為(医薬品、特定器材)を算定している目視対象レセプト
1万件当たり、当該コンピュータチェックの内容に該当したレセプト件数
- 折れ線グラフ(該当レセプトの査定・返戻割合)
コンピュータチェックの対象となった項目が
査定・返戻となった割合

【棒グラフ凡例】審査の結果

査定	返戻	: 設定根拠どおり
請求どおり 職員	請求どおり 審査委員	: 検証が必要

審査結果の概要

査定・返戻割合が20%未満であることから、コンピュータチェックの精緻化を優先し、レポート対象分から一旦除外

- 全国の査定・返戻割合 8.55%
- 検証対象都道府県 31

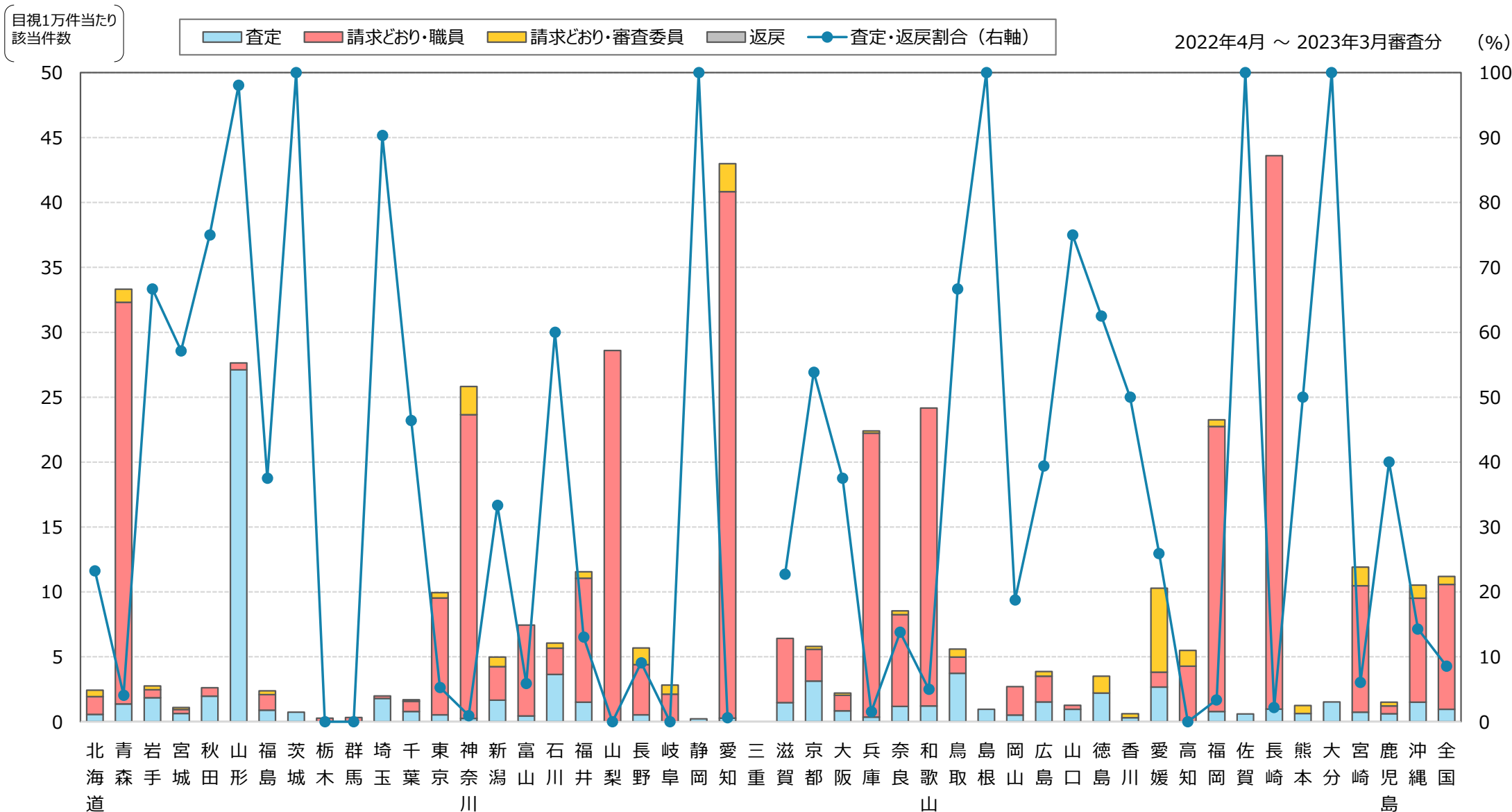
検証観点	都道府県※	備考
査定・返戻割合が低い	山梨、岐阜、高知、愛知、神奈川、兵庫、長崎、福岡、青森、和歌山、東京、富山、宮崎、長野、福井、奈良	査定・返戻割合の低い順
請求どおり・職員	長崎、愛知、青森、山梨、神奈川、和歌山、福岡、兵庫、宮崎、福井、東京、沖縄、奈良、富山、滋賀、高知	対象1万件当たり件数の多い順
請求どおり・審査委員	愛媛、神奈川、愛知、宮崎、徳島、長野、高知、青森、沖縄、新潟、岐阜、鳥取、福岡、北海道、福井、東京	//

※検証対象都道府県が16を超えたため、16都道府県を限度に表記している

該当件数（全国）	当該コンピュータチェックの内容に該当	3,976件
設定根拠どおりの審査	査定・返戻の計	340件
検証を必要とする審査	請求どおり	3,636件

コンピュータチェック対象:写真診断（特殊撮影（歯科パノラマ断層撮影））

歯科



【該当件数】当該コンピュータチェックの内容に該当したレセプト件数